

東日本大震災の復興工事における労働災害の防止について

——災害復興工事安全衛生対策チェックリストの活用——

先般、3月11日に発生しました東日本大震災により、被災された地域の皆さま、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

このたび、当協会は平成23年4月19日に、東日本大震災による災害復興工事における労働災害防止を図るため、復興工事において特に確認すべきポイントについて、「災害復興工事安全衛生対策チェックリスト」（以下、「チェックリスト」といいます。）を作成し、当協会の安全指導者を中心に周知を図ることとしました。これにより、災害復興工事現場において労働災害防止対策に漏れないことを事前確認するための動機付けに寄与することといたしました。

なお、チェックリストはラミネート製で、消去可能なペンで記入することにより繰り返し使用できるようになっています。

災害復興工事においては、工事の準備期間が短く、建設需要が急拡大する中での主要資機材のみならず、安全装置・器具、保護具が不足する等の特徴があることから、安全衛生対策がおろそかにならないよう十分な対応が必要となります。さらに加えて、余震や不安定な地盤、倒壊した建設物等の存在から施工場所の作業環境についても劣悪であるケースが存在します。そのため工事にあたっては、有資格者の確保及び新たに工事に従事する者に対する安全衛生教育などの安全衛生対策が必要となります。

一方、当協会では会員に順守義務のある建設業労働災害防止規程を設定し、全国に安全管理士（7名）、安全指導者（約3,500名）を配置し、労働災害防止規程の周知指導活動を行っているところであります。

このような状況から、労働災害防止規程を基盤として、災害復興工事の特徴を踏まえたチェックリストを作成しました。本部及び今般被害を受けた地域の安全管理士並びに安全指導者（約500名）が中心となって復興工事現場におけるチェックリストの周知を図ることとしました。

なお、工事にあたっては保護帽、防じんマスク等の保護具を適切に使用することが重要であることから、事前確認の一環として、保護具等の使用上の留意事項（災害復興工事に用保護具等一覧）についても周知することとしています。

建設業労働災害防止協会